

埼玉労福協サポートニュース 2018 No.3

秋も一段と深まり、朝夕の寒気が身に染みる時節となりましたが、皆さま、体調など崩されてはいらっしゃいませんか？
早いもので、2018年も残すところあと2カ月となりました…。
少し早いですが、今年度の活動報告と2019年初めのイベントのご案内です。



活動報告

福玉「ふくしまと繋がる・福島とつなげるプロジェクト」

知っていますか？



埼玉県内に福島県から避難されている皆さんを支援する事業です。一社）埼玉労福協が福島県の「福島県県外避難者帰還・生活再建支援補助金」を活用し、実施しています。スタッフは、石上清・石上寿美子（浪江町）、鈴木 仁の3人です。

◆どんなことをやっているの？

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 事業1 県外避難者見守り・要支援者訪問 | 事業2 県外避難者と地域住民との交流支援 |
| 事業3 福島県民の交流会の開催事業 | 事業4 帰還支援サポート事業 |

(事業1の例)



さいたま市岩槻区に住むAさん（76歳、男性）を訪問（2回目）。奥さんと2人で浪江町からさいたま市岩槻区に避難。中古の一軒家を購入し、地域の人たちと少し距離を置いて生活をしていました。しかし、ここでの生活が始まり、これからという時に奥さんが急に亡くなり単身になってしまい、夕方になると寂しさを感じていました。

「加須市に浪江町のYさんが避難しているので、連絡を取りたい…」という要望を受けたスタッフは、Yさんと調整してお互いに連絡を取れるようにしました。今では、AさんもYさんに会いに車で加須市まで行っています。

2回目の訪問は、スタッフの石上寿美子看護師が同行訪問して血圧測定などバイタルチェックを行いました。浪江町に帰りたいという思いはありますが、最近では地域のサロンや自治会の事業に参加して、地域の人と交流ができるようにもなりました。「福島弁で気楽に話ができて、いつもはコップ半分のお酒だけど今日は一杯になっちゃうな！」とご機嫌でした。

(事業4の例)

南相馬市から福島市に避難しているMさん（女性、単身）は、越谷市に家を購入したので引っ越しをしたいとの要望がありました。埼玉労福協の車を使い、荷物を積めるだけ積んで、越谷市まで引っ越しの支援を行いました。



ぜひ、ご利用ください！『帰還支援サポート』

福島の家に行って家財を持ってきたい。お墓参りをしたい。サロンに参加したい。福島市の役所・役場に用事がある…など、ちょっと帰りたいが一人では不安、電車に乗っていくのが困難…などで行きそびれていませんか？ 支援事業なので費用は無料です。市役所や役場への手続のお手伝い。介護保険、生活相談、住宅相談などの社会保障に関する相談でも大丈夫です。気楽に声をかけてください。

☎090-9425-2001（石上） 受託団体）一般社団法人埼玉県労働者福祉協議会 電話：048-833-8731

ご案内

専用臨時列車で行く！「成田山初詣の旅」

先着80名

新年恒例行事！「成田山初詣の旅」を来年も実施します。
平成最後の『成田詣』、みんなでワイワイ楽しく行きませんか？

【実施日】平成31年1月20日（日）

※詳しくは、別紙チラシをご覧ください。

【お申込み】一般社団法人 埼玉県労働者福祉協議会 ☎ 048-833-8731（月～金/10時～16時）

